

ROU KEN



チューリップ *tulipa gesneriana*

桜とともに陽気な春の色を感じさせる花がチューリップです。

オランダで栽培の始まったチューリップ、日本には江戸後期に伝わり、ユリ科の植物で別名は鬱金草。「ぼたんゆり」と呼ばれていた時期もありました。「チューリップ」の由来は、トルコ大使が花の名前を尋ねたところ、通訳がトルコのターバンのような花(トゥルバン)と伝えたのを聞き間違えて伝えたのがチューリップの名前の始まりのようです。

チューリップは恋愛にまつわる伝説が多い花で、「男性からの積極的な求愛に困惑した美しい女性が、女神に頼んで花にしてもらったのがチューリップ」とか「恋人の死を知って身を投げた男性の真っ赤な血だまりからチューリップが咲いた」とか、情熱的でありながらどこか悲しい物語に登場します。



代表的な花言葉は「博愛・思いやり」ですが、色が変わると同じチューリップでも意味が違います。中には「失恋」を意味する色もあるので、プレゼントに使うときは注意しましょう!

開花時期は3月～5月

(乾燥に弱いので水やりはまめに)

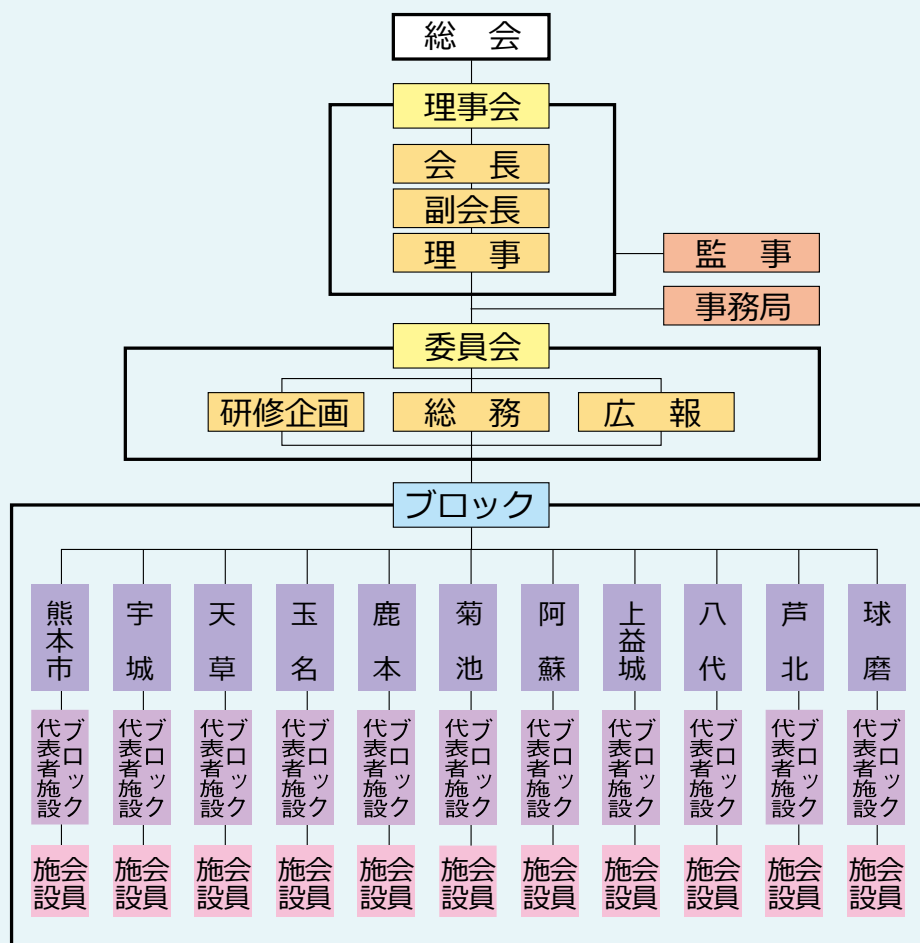
一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

〒868-0041 熊本県人吉市七地町 495 介護老人保健施設リバーサイド御薬園内

TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680 E-mail: kmrouken@orange.ocn.ne.jp

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 年1回、6月に開催する。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次	2
地域の実情にあった施設を目指して 理事 荒瀬一巳	3
平成27年度熊本県老人保健施設大会 開催報告	4・5
平成27年度新人職員研修会 開催報告	6・7
熊本県老人保健施設協会会員施設	8・9
施設紹介	10~12
平成27年4月介護報酬改定に伴う実態調査について	13
施設自慢	14
平成27年12月~平成28年2月までの各ブロック職種別活動の報告	15
編集後記・原稿募集のお願い	16

地域の実情にあつた施設を目指して

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

理事 荒瀬一巳

陽ざしもやわらかく、すっかり春めいて

まいりましたが、各施設においては、ご利用者の方が楽しく安心してその人らしく過ごせるようにと忙しい毎日だと思えます。

現在二〇二五年に向け、病床の機能分化と連携を進めるために、医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとに二〇二五年の推計入院患者数と必要病床数を推計し定める地域医療構想が全国で進められています。これは二〇二五年には団塊の世代が七十五歳になり、医療・介護需要が最大になること、高齢者人口の増加には大きな地域差があること、急性期から慢性期まで状態に見合った病状で良質な医療サービスを受けられるようにすること、更に二〇二五年以降は高齢者人口が減っていく時代が来ること等により、この構想を策定することになっています。

この為、各都道府県では二次医療圏で

とに、地域医療構想検討会議が行われています。老健施設は慢性期機能のなかの在宅医療、介護施設に含まれています。療養病床の受け皿となる、介護施設や在宅医療への移行をどのように進めていくのか検討されることになっています。私も地域の構想専門部会に老健施設の代表として参加していますが、これ迄2回程行われた会議では具体的なことはまだ何もないのが現状です。この地域医療構想を推進するには医療や介護が必要な人を支えていくために、又高齢者の方々が、住み慣れた地域で、できる限り継続して生活ができるように、医療、介護、予防、住まいを柔軟に組み合わせ提供することが必要とされています。この地域包括ケアシステムの理念は、「老健の理念と5つの役割」と一致するものであり、多職種からなる老健が機能を十分に発揮すれば、この中心となっていくこと

ができると思います。この為にも介護職、看護師等の職員確保、育成が重要だと思っています。第7号で緒方理事が言われていますが、二〇二五年には熊本でも、一五〇〇人程度介護職が不足すると試算されています。介護職は3Kに加えて、最近では給料が安い、結婚できない、休暇がとりにくい3Kを加えた6Kのイメージがあるといわれています。このようなイメージを払拭する為、我々が今現場でやっている仕事の実情を介護職を希望する人に正確に伝えることが大事で、このまま不足が続けばサービスの質の低下につながるものと思われまふ。老健の役割は多岐にわたり、今後にはたくさん問題もあると思いますが、それぞれの老健でその施設の特長を生かし、地域の実情にあつた施設を目指し、職種の垣根を越えて努力することが、大切なことだと思います。



平成二十七年 度

熊本県老人保健施設大会

～盛会に終わった分科会～



平成28年2月5日ホテル熊本テルサで、約二〇〇名の参加で開催されました。開催にあたり山田会長よりのご挨拶に続き、熊本県健康福祉部長寿社会局の大村裕司局長様より来賓ご挨拶をいただきました。

また、熊本県老人保健施設協会会長の功績を讃え、表彰も行われました。

今回の大会では、7つの分科会に45グループの発表がありました。それぞれの職場での体験からくる学び等、現場職ならではの細かい事例から見える対処や考えが発表され

ました。

大会の中には、兵庫県立大学大学院の小山秀夫教授からの特別講演もあり、「地域包括ケアシステム時代における老健に期待すること」と題して今の老健のあり方から今後どうあるべきかについてお話しをいただきました。

「在宅支援につなぐための老健への期待」をテーマに、市民講座のシンポジウムもあり、さまざまな意見が出されました。

各セッションでは、短時間ですがそれぞれの発表にも熱がはいり、日頃の成果を充分に発揮されていました。現場だからこそ見える内容で、本当の介護のありかた等わかりやすい発表でした。

大会最後は、参加者全グループに甲乙つけがたい内容でしたが、優秀演題の表彰式と総評で大会を終りました。



兵庫県立大学大学院 教授
小山秀夫 先生の講演



市民講座の様子

優秀演題

【セッション1】

事故を未然に防ぐ取り組み ～ひやりはっとマップを活用して～
孔子の里 理学療法士 岩崎 美和子 様

身体拘束・尊厳・リスクマネジメントに関する発表。
「ひやりはっとマップの活用」で、視覚で解り易く、多職種でのカンファレンス(頻度も工夫)などで、ひやりはっとの提出数も増し、スタッフの感性を高める事が出来ており、今後も更なる工夫をされることと思います。

【セッション2】

パーソナルロボット「pepper」による効果
おおつかの郷 介護福祉士 熊野 香織 様
座長：原田 寿奈(白藤苑／看護師長)

新しい事への取り組みや職員の健康に配慮した取り組み、ケアの質の向上を考えた取り組み等の7題の発表。
レクリエーションの取り組みは、どの施設も苦慮しているので、今回の取り組みはその一つのアイデアとして有効であるのではないかと思います。

【セッション3】

通所リハビリ利用者に対する自動車運転支援への関わり
清雅苑 理学療法士 上原 一輝 様

「生活」ということに目を向けられた発表。
研究発表としてのまとまりがよく、多職種での関わりや今後の方向性は妥当と考えます。

【セッション4】

地域包括ケアシステムに向けて ～認知症予防教室を開催して～
湧心苑 作業療法士 桑野 美香 様

認知症予防教育への新たな取り組みと結果。
部屋の中で行う予防体操が多いので、外へ出ていく事は楽しみもあり、体力も認知も衰え知らずになれると感じる内容でした。

【セッション5】

リハビリテーションマネジメントⅡによる介入の調査
清雅苑 作業療法士 木挽 保奈美 様

地域包括ケアシステムの中心として、リハマネ加算(Ⅱ)を算定している利用者の方の、利用目的の変化や支援についての報告。
今後参考にできる内容であり、リハビリチームが利用者の事を理解しケアしている事がうかがえました。

【セッション6】

コミュニティ音楽療法について-第2報- ～介護予防からグリーフケアまで～
メディエイト鶴翔苑 音楽療法士 村橋 和子 様

介護予防から看取り、グリーフケアに至るまでの一連の流れの中での音楽療法の持つ力を具体的に発表。
今後「音楽療法」が医療介護の現場に広く普及していく事を期待します。

【セッション7】

食べる楽しみの支援強化に向けての取り組み～多職種協働によるミールラウンド～
ぼたん園 理学療法士 渡邊 弘 様

わかりやすくスライドを使用された発表。
ミールラウンドを行うことで、各職種が食事摂取改善に取り組み、利用者の生活の質の向上を図っていくことが評価できました。



7名の受賞者 右から、岩崎さん 熊野さん 上原さん 桑野さん 木挽さん 村橋さん 渡邊さん

平成二十七年度

「職員基礎研修会」開催

「基礎を理解し、喜ばれる介護を目指す」



山田会長からのご挨拶

方迄、さまざまな職場から参加されました。

1日目の講演は、熊本県老人保健施設協会の山田会長からご挨拶の後、「老健の歴史と将来のあり方」と題して講演をいただきました。

引き続き、高知県から山本満壽子様をお招きし「老人保健施設のケアのあり方」について講演頂きました。現在、山本様は、認知症や喀痰吸引等の介護研修の指導をされています。講義の中では、「利用者の尊厳を守り、理念や役割を理解してケアにあたる」このことが大切と話されました。そして早期の在宅復帰促進の必要性も強調され

平成27年12月2日

と3日の両日に基礎研修会が開催されました。各施設から56名の職員が参加されました。参加者は介護職や理学療法士など、平均経験年数が平均2年4ヶ月と新人の方から8年位の



ひむか苑榎橋弘喜先生のクレームについての講演

要因から対処まで分かりやすく説明をいただきました。組織としての統一認識での対応や記録、マニュアルの重要性など話されました。職員として、相手の話をよく聞き

ました。経験が長くなるとつい忘れがちな原点。「再度原点に返り、見て知って欲しい。そして利用者に興味をもつて欲しい」その結果が良



山本満壽子先生のケアのあり方についての講演

いケアになり、ご家族との信頼関係につながると締めくくられました。

宮崎県のひむか苑の施設長の榎橋様には、「クレーム対応の実際」と題して、実際の苦情や事故トラブルについて、

理解し、ぶれない態度で接する事がトラブル回避にもつながると講演の中で話されました。

2日目は、実際の現場で働く5施設の方々からの講義が行われました。現場担当での講義とあり、受け入れから施設のチームワーク迄の自分達がやる事の基礎を学びました。栄養管理の講義では、実際食事の姿勢等介護される側の気持ちを体験してもらいました。同じ様なケースや悩みを持つ参加者たちは、先輩の講義に熱心に耳を傾けていました。

2日間の基礎研修会でしたが、「介護」とは何かを考え、それに携わる各職場での役割と連携を再認識できる研修会でした。



熱心に聞き入る参加者



グループ発表



リスクについての講義



体 験



グループワーク



研修参加者の
感想を
一部ですが、
ご紹介します。

業務中見落としていたケアの
技術を学ばせて頂きました。
また、これからの老健の役割
をしっかりと考える機会を頂き
ありがとうございました。

多職種連携の大切さを
改めて感じる事がで
きました。

今回の研修を通じて、いま
で分かってはいたけれど
も実現できていない部分
などを見つめ直すことが
出来た。

アセスメントして、ケアプラン
等の記録が大変重要。お客様
に変わった事があつたら、即、
家族へ連絡し状態報告するこ
との大切さを学びました。

他施設のことを知れた
り、数年たち忘れかけて
いた事を思い出させて
頂きました。ありがとう
ございました。

基礎がまず勉強出来たこと
で、さらにこれから自分がプ
ロとして何をしていくのか考
えるきっかけになったし、他
職種との協力の大きさをあ
らためて認識できました。

設協会会員施設



- ④⑧清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ④⑨平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ⑤⑩星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ⑤⑪てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ⑤⑫幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ⑤⑬希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ⑤⑭山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ⑤⑮太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ⑤⑯サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ⑤⑰桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ⑤⑱おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ⑤⑲ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ⑥⑰孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ⑥⑱リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ⑥⑲有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ⑥⑳阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ⑥㉑愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ⑥㉒おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ⑥㉓リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ⑥㉔彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ⑥㉕ライフイト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ⑥㉖御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ⑦⑰平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ⑦⑱ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ⑦㉒ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ⑦㉓八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818
- ⑦㉔ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ⑦㉕向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ⑦㉖アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ⑦㉗かがみ苑 八代市鏡町塩浜11-235 0965-30-4000
- ⑦㉘皇寿苑 八代市高島町4218 0965-33-5545
- ⑦㉙とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737

- ⑧⑰やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ⑧⑱白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ⑧㉒新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

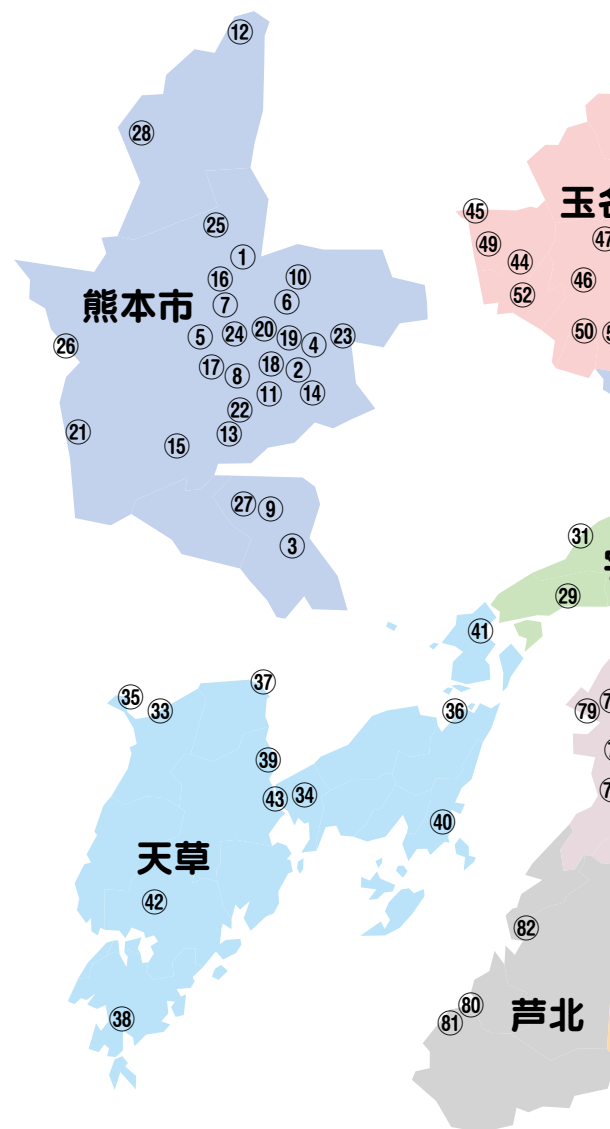
- ⑧㉓サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ⑧㉔リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ⑧㉕山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ⑧㉖シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ⑧㉗タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ⑧㉘愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ⑧㉙もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成27年度ブロック代表者施設です。



熊本県老人保健施

- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④おとなの学校本校 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486



- ②⑨青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ③⑩あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③⑪景雅苑 宇土市上網田町3676 0964-27-17086
- ③⑫なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011

- ③⑬慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ③⑭本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ③⑮臥龍園 天草郡苓北町志岐123-2 0969-35-1119
- ③⑯松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③⑰ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ③⑱ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ③⑲天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ④⑩きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ④⑪ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ④⑫ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④⑬夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④⑭聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ④⑮慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ④⑯樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④⑰ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

熊本市ブロック 14

第二コスモピア熊本

熊本市東区尾ノ上 1-8-8

TEL 096-360-3111 FAX 096-360-3113

入所定員：54名 通所定員：80名



当施設は平成7年に医療・保健・福祉の包括的体制づくりを目標とし、病院併設型で当法人2つめの老健施設として開設した。熊本市内東部に位置し、4階最上階からは西に県庁・金峰山、東に阿蘇外輪山(俵山)を一望できる。

1階は通所リハビリ、4階は短時間の通所リハビリ(定員80名)を提供しており、2階3階は入所(定員54床)居室となっている。3階はハード面で徘徊対策を講じており、コスモピア熊本との大きな違いになる。

入所定員は小規模であるが、開設当初より短期入所のベッド利用率が10～20%強の利用で、内訳として通所利用者に多く利用いただいている傾向にある。制度改正と共にリハビリ職員もPT10人、OT3人と充実し、「生活不活発予防」「在宅(自立)支援」にむけて他職種、外部事業所との連携を強化している。リハ会議も通所利用者の約60%の実施を実現しており、今後も幅広いニーズにお応えできるよう取り組んでいきたい。

地域の中で当施設が有する機能や専門職員の技能が十分に活用され、老健施設が必要不可欠な存在となり、益々成長していけるように努力している。



熊本市ブロック 13

ぼたん園

熊本市南区御幸笛田6丁目8-1

TEL 096-370-1222 FAX 096-370-1123

入所定員：100名 通所定員：70名



当施設は、御幸病院を中核としたみゆきの里グループの老健施設として平成6年4月に開設致しました。現在、医療と介護の一体化の推進に向けて、ミールラウンドや退院前カンファレンス参加など、多職種協働で取り組んでおります。

その結果、平成24年4月より在宅強化老健として、入所99%、通所リハビリ85%のご利用をいただいております。在宅支援を強化するために、通所リハビリにおいて個々の目標に合わせた機能訓練、認知症予防プログラム及び自宅を訪問してのリハビリ指導等にも力を入れています。

また、ご本人の状態に応じたサービス利用を目的に、グループ内外の事業所との連携を強化していきたいと考え、今年、「みゆきの里通所連携パス」を作成しました。

私たちは、「地域の人々・ご利用者のご家族の幸せを願い、保健医療福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します」というぼたん園の理念を達成するために、職員一丸となって、お一人お一人のご利用者、ご家族の心の声をしっかりと傾聴し、それぞれの想いを大切に行動したいと考えております。



上益城ブロック 70

平成唯仁館



利用者利益や在宅支援として、延長デイケアや正月の通所開催などスタッフ自ら検討し実施となっています。また、「地域連携交流会」開催が第9回を無事迎えることができました。地域の団体長や行政等を始め、各事業所様の協力のもと開催することができました。今後も継続していきたいと考えております。

「介護は人なり」をモットーとし、人材育成や地域貢献など、更に努力していきたいと考えております。

上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1

TEL 096-286-0666 FAX 096-289-0014

入所定員：60名 通所定員：85名

平成唯仁館は、平成6年に開設されました。当施設は、益城町と熊本市の隣接地域に位置し、第二空港線沿いということもあり様々な地域の方々にご利用いただいております。

入所定員は60名、通所定員は85名で運営しており、平成24年度からは在宅復帰強化型を取得しております。更に当施設の特徴としては、専門職の配置にあります。看護職の約70%は看護師を配置し、理学療法士・作業療法士を11名、介護福祉士については入所・通所共にサービス提供体制加算(I)イを算定できております。



葦北ブロック 81

白梅の里



営の厨房を保有し、旬の食材を活かした食事の提供にも力を注いでいます。平成18年には、「個性の尊重」「住環境

の充実」「自律支援」「家族・地域との交流」の4項目を柱とする「白梅の里ケア理念」を掲げ、更なるサービスの質の向上と、地域に貢献できる施設を目指し、職員一丸となりご利用者様の在宅復帰に向けたサービス提供に努めております。



水俣市浜4098-18

TEL 0966-63-3888 FAX 0966-63-8200

入所定員：90名 通所定員：50名

白梅の里は、熊本県の最南端、水俣市の自然豊かで風光明媚な湯の児地区に位置します。平成27年より復活した湯の児海上花火大会は間近に見ることができ、また、海風を感じながら、絶景の夕日を堪能できる癒しの場でもあります。

本法人では併設の「白梅病院」をはじめ、水俣市の中心部にクリニック・居宅介護支援・訪問看護ステーション事業を展開し、地域に根ざした運営を目指しています。

当施設は、八代海と天草の島々を一望できる展望浴室や居室を配し、快適な住空間の提供に努めています。また、自社運



菊池ブロック 58

おおつかの郷



ます。また介護スタッフの教育・研修、資格取得へのサポート体制の充実等を行い、良質なサービスの提供が行える基盤づくりを行っております。

運営管理面においては、バランス・スコアカード(BSC)を導入し、毎年4月に各部署からの発表を行い、11月に半期の進捗状況を確認することで、幅広い視点で目標管理を行い、かつ実現性・具体性の高いものを目指しております。

菊池郡大津町陣内1165

TEL 096-294-1500 FAX 096-294-0478

入所定員：86名 通所定員：50名

介護老人保健施設おおつかの郷は、平成7年に大津町に開設し満20周年を迎えました。加えて、平成24年5月に同一敷地内に複合型高齢者施設(クリニック、サービス付き高齢者向け住宅、認知症対応型通所介護、グループホーム)を開設致しました。このことにより御利用者の状態に合わせたシームレスなサービスの提供が可能となっております。

当施設では、リハビリテーションの充実(PT6名・OT4名)が特徴です。さらに音楽療法士の採用、アロマセラピー、人型ロボットPepperの導入等を行い、楽しい雰囲気作りに努めてい



天草ブロック 39

天草中央総合病院附属



天草市東町101

TEL 0969-22-2111 FAX 0969-22-0660

入所定員：100名 通所定員：40名

本施設は、天草市中心部に位置し周囲を美しい海に囲まれ、東側には瀬戸大橋及び瀬戸海峡が望まれた風光明媚な場所にあり、鉄筋コンクリート5階建て(天草中央総合病院併設)の施設です。

開設以来の理念である、思いやりの心で、尊厳・人権を尊重した他職種協働のケアを行ってきました。職員の質を高める努力もしており、介護支援専門員22名、認知症ケア専門員7名、介護職の8割が介護福祉士を取得し、病院併設型の利点を生かし医療依存度の高い入所者の受け入れや、看取りも行っ

ております。

全老健が推奨しているR4も取り入れ、また理学・作業療法士も6名配置し入退所の際の訪問指導に力を入れ平成24年10月から在宅強化型施設となり、在宅生活支援・地域包括ケアに向けた取り組みを進めています。

今後さらに医療機関や関係機関との連携を図り、地域包括ケアシステムの中核となる施設を目指していきます。



平成27年4月介護報酬改定に伴う実態調査についての報告

介護老人保健施設 青翔苑 副施設長 永 廣 研 二

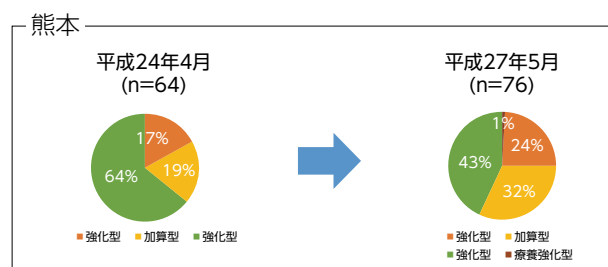
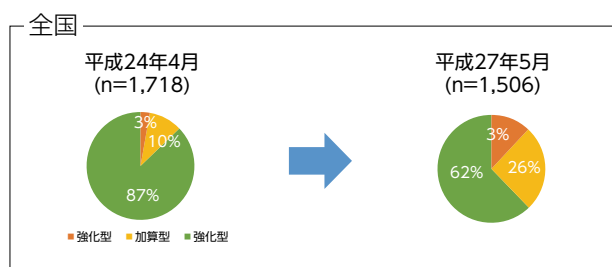
平成27年度の介護報酬改定率は、全体でマイナス2.27%であり、処遇改善やサービス充実分を除くと、実質マイナス4.48%と非常に厳しい改定となりました。老健関係については、「リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ」等の新設や在宅支援機能を強化する加算の評価が行われましたが、解釈通知等の情報が遅れ、年度当初より現場施設に戸惑いが生じたのも事実です。

そのような中、全老健が、改定による老健施設運営への影響の実態を把握するために、「平成27年4月介護報酬改定直後の実態調査（新設加算等算定状況に関する調査）」を実施することに合わせ、熊本県老人保健施設協会も全老健の調査票に加え、「通所リハビリテーション費の算定状況」等の実態調査を6月に実施しました。89会員施設中76施設に回答いただき、本当にありがとうございました。調査結果については、すでに県老健のHPで公表しております。事業運営等に、参考にしていただきますと幸いです。

【主な調査結果（全老健会員施設との比較）】

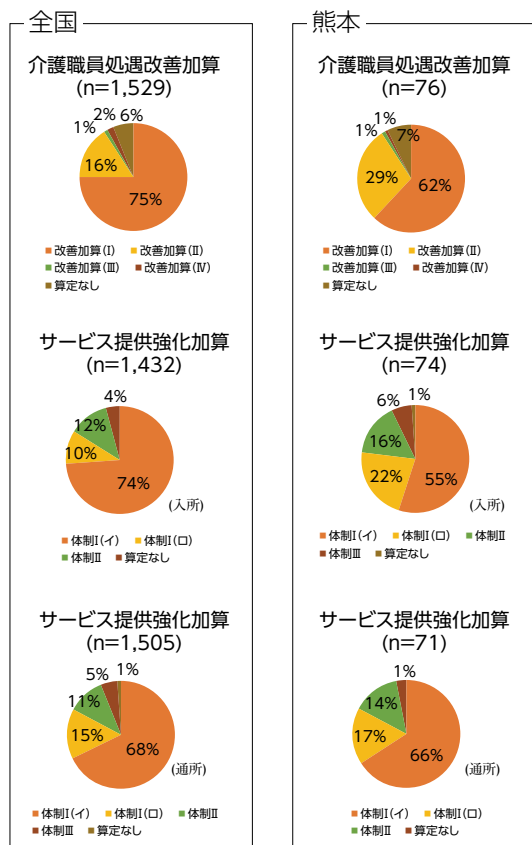
※全国と比較して、強化型及び加算型の算定割合が高い。

●在宅復帰の評価



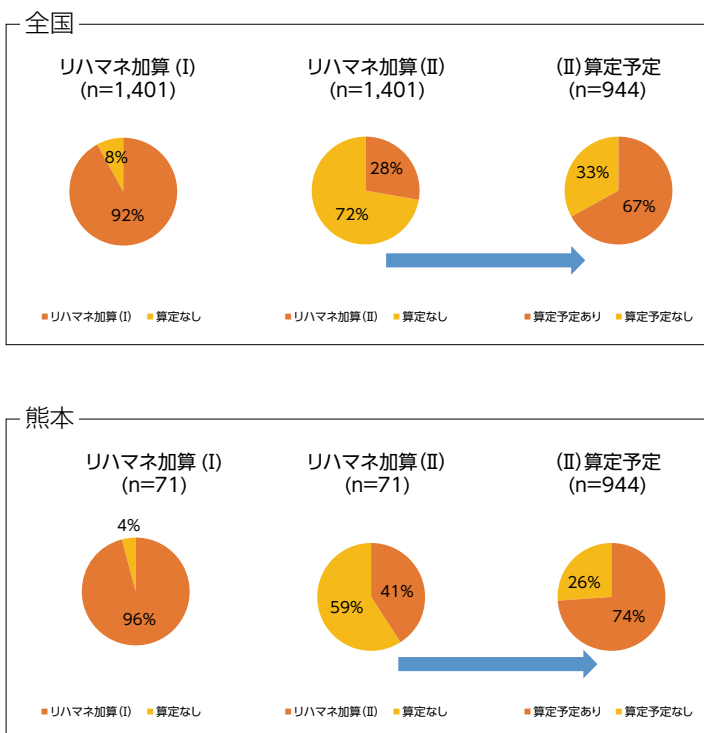
●介護人材確保関連加算の算定状況

※全国と比較して、改善加算(I)及び体制加算(I)の算定割合が低い。



●リハビリテーションマネジメント加算の算定状況

※全国と比較して、リハマネ加算 (Ⅱ) の算定割合が高い。



・全老健の調査結果については、平成27年度版 介護白書(全老健/編集)より

第29回介護老人保健施設対抗ソフトボール大会

あさひコート優勝!

去る11月1日に、半年に一度行われる第29回介護老人保健施設対抗ソフトボール大会で、あさひコートが6年ぶり3度目の優勝を果たしました。

今回は、あさひコートが大会運営の主幹施設でもあり、担当者は事前からの準備で遅くまで残って行っていました。その甲斐あって担当施設が優勝するという、私たちにとって最高の形で終わることができました。次回は連覇がかかる大会なので、またチーム一丸となって頑張ります!

投稿者：介護老人保健施設あさひコート
施設課長 中嶋



わがまち自慢 伝統の美・山鹿灯籠



奉納灯籠踊り(保存会)



千人灯籠踊り

8月15日・16日は「山鹿灯籠まつり」。全国各地からおよそ20万人がおとずれ、多くの人で賑わい、山鹿灯籠祭り2日目、「ハイイとうろう」のかけ声がまちなかに響きます。

「上がり灯籠」と呼ばれるこの神事は、昔から旧山鹿郡最大の大宮神社に山鹿灯籠を奉納する神聖かつ、大切なものとされています。現在、各町内会等から奉納される灯籠の数は三十基前後ですが、江戸時代には九十を越える灯籠が奉納され賑わっていたそうです。

山鹿灯籠の製作技術は、「ぬしは山鹿の骨なし灯籠～」とよへぼ節で唄われるように、山鹿灯籠は金属や木材を一切使用せず、和紙と糊だけを使い、組み立てられます。

江戸時代当時の山鹿灯籠は、商家のお家芸として発展し、その家ごとに代々伝わる秘法は門外不出で、公開されていなかったとのこと。商家には、代々灯籠をつくるための道具が引き継がれ、火事の際には仏壇と一緒に持ち出して逃げるほど大事にされてきました。上がり灯籠で使用する「灯籠奉納台」についても、神に献上する灯籠をのせる神聖なものとして大事に保管され、使われています。

投稿者：山鹿リハビリセンター 事務長 渡邊孝洋

各ブロック職種別活動の報告

平成27年12月～平成28年2月

会 合 名	期 日	内 容	参加人数
宇城・阿蘇・上益城ブロック（合同） 宇城：4施設 阿蘇：4施設 上益城：6施設			
事務管理部会	12月4日 (金)	○意見交換「実地指導での指摘内容等」「平成27年度介護保険改正への取り組みについて」他	14施設 16名
天草：11施設			
リハビリ部会	12月2日 (水)	○実地指導のついでの情報交換 ○症例報告	7施設 8名
支援相談部会	12月10日 (木)	○実施指導終了施設から報告 ○事例発表 ○情報交換等	11施設 14名
事務管理部会	12月17日 (木)	○平成27年度実施指導についての情報交換 他	5施設 5名
栄養部会	1月13日 (水)	○平成27年度実地指導終了施設からの報告 ○平成27年度実地指導についての情報交換 他	8施設 9名
看・介護部会	2月18日 (木)	○今年度の反省 ○来年度の計画 他	11施設 14名
玉名・鹿本・菊池ブロック（合同） 玉名：9施設 鹿本：3施設 菊池：7施設			
通所リハビリ部会	2月12日 (金)	○平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画 ○レクリエーション紹介 ○情報交換 他	14施設 21名
事務管理部会	2月19日 (金)	○施設運営における諸問題 ○介護保険申請に必要な個人番号(マイナンバー)の取扱いについて 他	14施設 15名
支援相談 ケアマネ部会	2月19日 (金)	○意見交換・情報交換「実地指導について」「次年度の部会について」 ○施設見学 他	16施設 26名
栄養部会	2月29日 (月)	○講義「腎臓病における低タンパク質食事療法について」「嚥下ピラミッドについて(最新版)」質疑応答 ○平成27年度活動報告 及び平成28年度事業計画 ○情報交換 ○事務連絡 他	10施設 11名
八代・芦北ブロック（合同） 八代：7施設 芦北：3施設			
リハビリ部会	2月19日 (金)	○症例報告 ○情報提供 ○実地指導について ○次年度計画 他	9施設 13名
球磨ブロック 球磨：7施設			
栄養部会	2月5日 (金)	○リハ栄養について ○実地指導について ○意見交換 他	7施設 8名
事務管理部会	2月19日 (金)	○今年度指導対象施設よりの報告 ○質疑応答 他	7施設 10名
リハビリ部会	2月19日 (金)	○平成28年度研修会の内容検討 ○各施設実地指導の状況報告 他	7施設 12名
看護・介護 デイケア部会	2月23日 (火)	○実施指導後の報告 ○施設独自の取り組みについての発表 他	6施設 16名

原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡差し上げます。

FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ ペット自慢 () | ☐ うちのイケメン職員紹介 |
| ☐ 施設の活動について | ☐ 施設の人気の料理メニュー |
| ☐ 行事の記事や写真 | ☐ レクリエーション紹介 |
| ☐ 研修の感想 | ☐ 旅行記 |
| ☐ うちの地域の自慢や祭り紹介 | |
| ☐ その他 () | |

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

編集後記

熊本県老人保健施設大会に参加しました。他施設の様々な取組みを聞くことができ、大変参考になった大会でした。演題数は昨年より10題多い45題と、各施設の熱心な研究、取組が活発になってきているのではないかと思います。そのいくつかの発表の中で、老健を利用される方の「ニーズ」という言葉が聞かれました。介護老人保健施設はもちろん法律・制度に基づいた施設です。しかし、利用される方の「ニーズ」こそが老健を支えるものなのだなとあらためて感じました。老健が今後も利用される方々の意見が取り入れられる施設となっていければと思います。

コスモピア熊本 松永

広報委員

松永 昇行(コスモピア熊本)
後藤 健(青海苑)
高森 由紀(希望の園)
立山奈津美(協会事務局)

土肥 英樹(サンライフみのり)
金子 俊弘(あさひコート)
岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)

印刷:シモダ印刷株式会社

